

VI 自然との共生のシンボル・私たちの六甲山を活かしましょう

わたしたちの六甲山で自然との共生を深めましょう

夢提案を踏まえて、循環型社会のシンボルとして六甲山系をとらえ、「わたしたちの六甲山」をキャッチフレーズとして掲げます。

自然環境との共生を育むことを視座に据え、六甲山の自然と文化を県民の共有財産として、維持発展させましょう。多くの人が六甲山に上り、六甲山で様々な楽しみ方ができるように提案していきましょう。

1 「六甲山の自然と文化の憲章」をつくり、交流のシンボルにしていきましょう

100年間の植樹で緑が復活した六甲山系の自然・生態系の回復を図り、その魅力を市民・県民が享受して子孫にも継承するという、六甲山へのかかわり方を提起して共有することが必要です。

自然と環境を保全するためのマナーやモラル、六甲山を活かした地域づくりについて、様々な意見を出し合い、県民共有の憲章をつくりましょう。

憲章を交流のシンボルとして、県民、山上の住民や事業者、自然保護団体、NPO、行政が連携した運動を展開しましょう。

○憲章の試案づくりに取り組みましょう。

- ・六甲山の自然や文化を大切にしながら、これらを生かした交流を進めることをうたう憲章の試案づくりにみんなで取り組みましょう。

○憲章づくりを進め、交流のシンボルとしましょう。

- ・憲章の試案を基に、県民から意見や賛同を得て、憲章をつくりあげましょう。憲章を広くPRし、交流のシンボルへと高めましょう。

2 もっと多くの人に六甲山に上ってもらいましょう

六甲山系に多くの県民を集めるために、六甲山系の山上・山腹・山麓部、有馬温泉を含めた、広く六甲山の魅力を紹介する情報を提供しましょう。そして、効果的なテーマをとりあげて様々な行事を実施して、四季折々の県民上山運動を進めましょう。

六甲山にかかわっている諸団体の活動を案内し、共同開催を促進して多くの県民が上山できる機会を増やすとともに、定例的な行事となるものを生み出しましょう。

○六甲山イベントの様々な情報を整理し、発信しましょう。

- ・活動団体のイベント・行事をまとめて、県民に広く案内しましょう。
- ・インターネットをはじめ、TV、新聞などマスメディアを活用して六甲山の案内をしましょう。



六甲山楽しみ発見ウォーキング
(紅葉編)

◇「六甲山と市民のネットワーク」が六甲山イベント情報をHPで紹介

○六甲山四季の祭典を開催しましょう。

- ・交流イベント、県民植樹祭などを実施しましょう。

◇「六甲摩耶観光推進協議会」が六甲山グルーム祭を開催

○諸団体に行事の共同開催を呼びかけましょう。

- ・キャンペーンを行い、県民が上山する機会を増やしましょう。

○多彩なイベントに参画・協働しましょう

- ・国立公園編入50周年（平成18年5月1日）を迎えて、六甲山地域で開催される記念イベントに参画し、協働しましょう。

3 六甲山系のいろんな楽しみ方を提案しましょう

六甲山系を知って楽しみ、上山者の交流を促進するために、六甲山系についての楽しみ方を提案しましょう。六甲山系の山上・山腹・山麓部、有馬温泉を含め、六甲山に深く親しめる探遊ポイントを見つけ、県民がそこを楽しみながら歩けるように、モデルコースづくりや体験プログラムの企画、ガイド役の養成を行いましょ。

○六甲山探遊ポイントマップをつくりましょう。

- ・六甲山系の自然と文化の活動を紹介するマップをつくりましょう。
- ・六甲山系生涯学習拠点マップをつくりましょう。



六甲山楽しみ発見マップ

◇「六甲山の楽しみ発見マップ」「六甲山自然保護センター周辺散策マップ」および改訂版を作成(H15、H16)（ビジョン委員会活動）

○六甲山探遊モデルコースをつくりましょう。

- ・六甲山上部に探遊ゾーンを設定し、案内標識などを整備しましょう。
- ・子どもづれ、障害者向けなどのみんなが楽しめるファミリー探遊コースや、手軽に上れるコースなどもつくりましょう。

○探遊ポイントを楽しむための体験プログラムを企画しましょう。

- ・自然観察案内をしましょう。
- ・六甲山の歴史や文化を訪ねてみましょう。

◇「六甲山楽しみ発見ウォーキング」（初冬編・早春編(H14)、夏編・夏休み親子編・秋編(H15)、夏休み親子編・紅葉編・樹氷編(H16)、紅葉編(H17))を実施（ビジョン委員会活動）

○自然活動のフィールドをつくりましょう。

- ・わんぱくの森、グリーンベルト構想の森づくりを進めましょう。

4 六甲山の自然と文化に深くかかわり、学びましょう

六甲山系全域をビオトープとみなして、生涯学習総合ゾーンと位置づけ、人間と生態系のかかわりを学びましょう。

自然環境や動植物を実地調査して、生態系を維持し回復するのに必要な取り組みや自然環境の保全を進めましょう。

六甲山の開発史や昭和初期の六甲山の隆盛ぶりなど、六甲山とのかかわりの中で培われてきた文化についても学びましょう。

○六甲山の自然と文化のスクールを開きましょう。

- ・調査・発見の活動「六甲山を知ろう」を進めましょう。
- ・関係機関が連携して、六甲山の自然や文化を学ぶ学習会やフィールドワークを開催しましょう。



六甲山で見つけた楽しみ記録会の様子

◇「六甲山自然保護センターを活用する会」が六甲山の自然や文化を学ぶ「六甲山魅力再発見市民セミナー」を開催(H14～)

○人間と生態系の正しいかかわり方を考えてみましょう。

- ・イノシシやアライグマなどの野生鳥獣との正しいかかわり方を考えましょう。

○環境教育プログラムを実施しましょう。

- ・六甲山エコスクール、エコツーリズムなどを開催し、学校行事としても参加を呼びかけましょう。

5 自然共生モデル地域づくりに取り組みましょう

六甲山系を都市の生活にうるおいをもたらす自然の要衝として、県民と自然との共生のモデル地域として育てましょう。その際、環境の美化・保全はもとより、森づくり、清流を取り戻す運動、野生鳥獣との正しいかかわりなどを通じて、六甲山の自然保全を進めていきましょう。また、六甲山でのスローライフを楽しみ、その楽しみ方を発信し

ていきましょう。

さらに、こうした自然共生モデル地域づくりを支える仕組みを築きましょう。

○森の保全、育成を進めましょう。

- ・森づくりに親しむ県民を増やしましょう。
- ・六甲山に適した樹種の植樹、手入れをしましょう。

○清流を取り戻す運動を進めましょう。

- ・環境調査と自然の復活、源流地域保全計画などを進めましょう。

○自然の恵みを楽しみましょう。

- ・間伐材や木の実を使った木工、クラフトを楽しみましょう。

○環境美化・保全を促進しましょう。

- ・六甲山のクリーンパトロールやクリーン登山などを行いましょう。
- ・ドライブウェイ、探遊ルート、ハイキングルートなどのトイレをみんなで管理しましょう。
- ・マイカー利用者に対するマナーの啓発、車道沿いの清掃活動を行いましょう。

◇「ヒヨコ登山会」が毎朝登山をスローガンに、山径清掃、植樹、河川清掃などを実施

◇ブナを植える会が、六甲山頂でのブナ植樹などを実施

◇「防災福祉協議会」が六甲山防災フェアを開催

○六甲山でスローライフを楽しみましょう。

- ・六甲山に滞在し、ゆっくりと時間を過ごしましょう。
- ・六甲山でのスローライフの楽しみ方を見つけ、提案しましょう。